

音楽・音声制作演習

第4回 編曲作品制作 1

高岡 明

編曲の方法

1. 反復する

Studio Oneのコピー/ペーストを利用する。

2. 音色を変える

Studio Oneのインストルメントを変更する。

Studio Oneの複数のインストルメントを重ねる。

Studio Oneのインストルメントのエンベロープを変更する。

Studio Oneのイフェクトを使用する。

Audacityのイフェクトを使用する。

Processingのプログラムで作成した音を用いる。

4. 旋律を変奏する

モーツァルト《きらきら星変奏曲》を参考にする。

マルコフ連鎖を用いたProcessingのプログラムで旋律を自動生成する。

5. 転調する

Studio Oneのコピー/ペーストおよびMIDI transformを利用する。

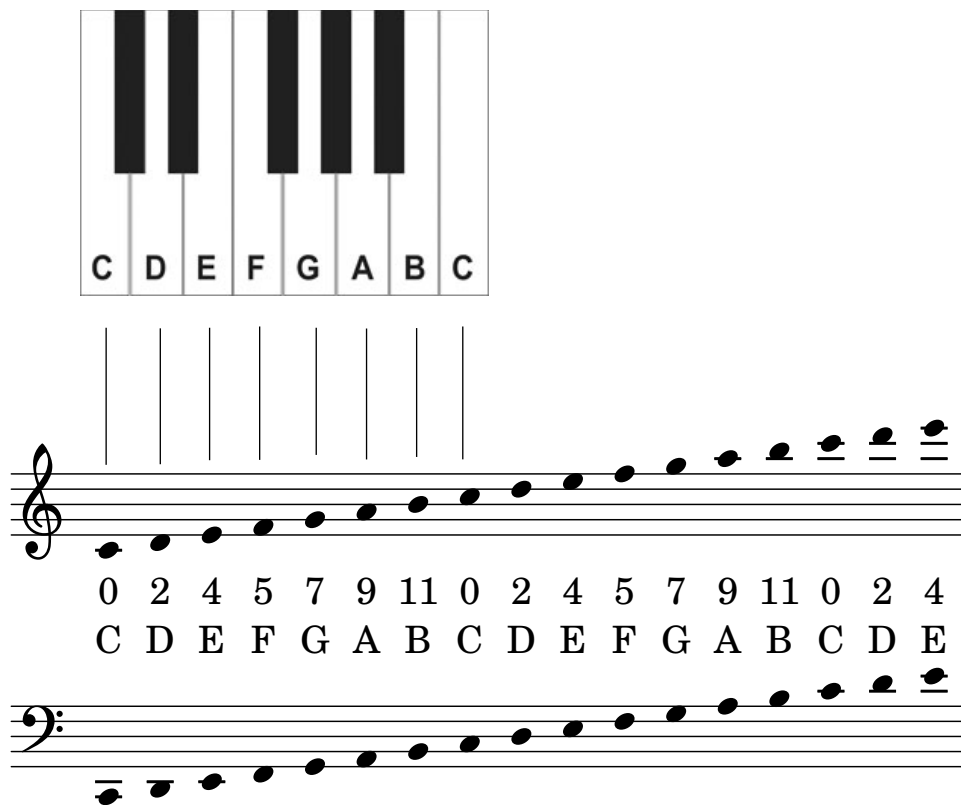
旋律を反復する毎に異なる転調を用いる。

6. 音階を変える

2.1 半音階



2.1 長音階

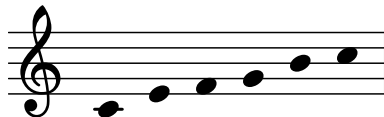


2.2 短音階 (マイナー・モード)

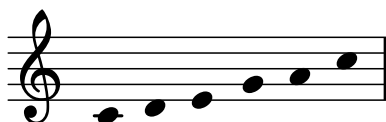


2.3 様々な音階

沖縄音階



5 音音階 (ペントニック音階)



教会旋法の例

1 2 3 4 5 6 7 8 9

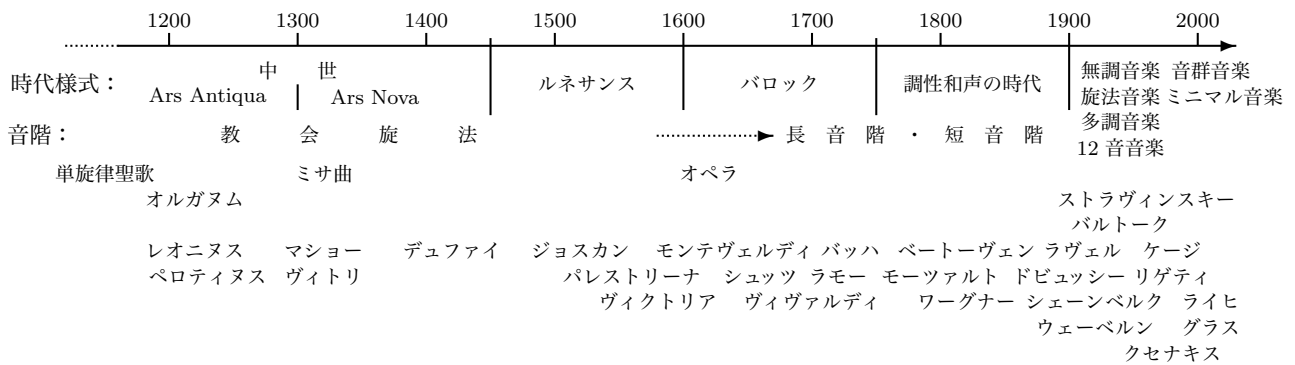
G-Dorian: I I² VI⁷ V⁶ III IV⁶ III IV⁶

V I I² VII² I₄³ IV⁷ V⁷ I

Gabriel Fauré. “Sicilienne” from *Pelléas et Mélisande*

教会旋法を用いたゲーム音楽の例

<https://www.youtube.com/watch?v=XWVij6r4QBw>



西洋音楽史における音階使用の変化

7. 和音を変える

7th、9th コードを使用する。
他の調の和音を使用する。

8. リズムを変える

様々な様式のリズムパターンを使用する。

課題の提出

レポート（必須）及び以下の2点または3点をUNIPA上で提出する。提出するファイル名は学籍番号を使用すること。

- ・ レポート

学籍番号 氏名

編曲した曲のタイトル

以下の内容を書く：

編曲の意図

使った方法

結果の客観的評価

改善点

- ・ 編曲

《きらきら星》またはバッハの《メヌエット》を編曲し、(1)サウンド・ファイル（.wavまたは.aiffフォーマット）、(2)Processingのスケッチ、(3)Studio Oneの.songファイルを提出する。

Studio Oneで作成した曲をwavまたはaiffフォーマットで保存するためには、メニュー → ソング → ミックスダウン → エクスポート を選択し、学籍番号.wavまたはaiff(aif) という名前で保存する。

UNIPAに10MBを超えるファイルをアップロードすることはできないので、制作した曲のサウンド・ファイルのサイズが10MBを超えた場合は、mp3フォーマットへ変換する。やり方は、Studio Oneで書き出したサウンド・ファイルをAudacityのファイル → インポート → Audio で読み込み、次に、ファイル → Export Audio からmp3を選択してmp3フォーマットで保存する。